

第一級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の免許人は、無線設備の変更の工事をしようとするときは、総務省令で定める場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 あらかじめ総務大臣にその旨を届け出る。
- 2 あらかじめ無線設備の変更の工事の期日を総務大臣に届け出る。
- 3 あらかじめ総務大臣の指示を受ける。
- 4 あらかじめ総務大臣の許可を受ける。

〔4〕 無線局の免許人は、電波法又は電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 2 その無線局の電波の発射を停止させる。
- 3 その無線局の免許人にその旨を通知する。
- 4 その無線局の免許人を告発する。

〔2〕 電波の主搬送波の変調の型式が振幅変調で抑圧搬送波による単側波帯のもの、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャネルのものであって、伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）の電波の型式を表示する記号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 J3E
- 2 F3E
- 3 F1B
- 4 A3E

〔5〕 総務大臣が無線局に対して臨時に電波の発射の停止を命ずることができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 無線局が暗語を使用して通信を行っているとき。
- 2 無線局が免許状に記載された空中線電力の範囲を超えて運用していると認めるとき。
- 3 無線局の発射する電波が他の無線局の通信に混信を与えているとき。
- 4 無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないとき。

〔3〕 無線従事者は、その業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 携帯する。
- 2 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所に掲げる。
- 3 無線局に備え付ける。
- 4 航海船橋に備え付ける。

〔6〕 次の記述は、業務書類等の備付けについて述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線局には、 及び無線業務日誌その他総務省令で定める書類を備え付けておかなければならない。ただし、総務省令で定める無線局については、これらの全部又は一部の備付けを省略することができる。

- 1 無線設備等の点検実施報告書の写し
- 2 無線局の免許の申請書の写し
- 3 無線従事者免許証
- 4 正確な時計

第一級海上特殊無線技士試験問題

法 規

- 〔7〕 一般通信方法における無線通信の原則として無線局運用規則に定める事項に該当しないものはどれか。次のうちから選べ。
- 1 無線通信は、これを長時間行つてはならない。
 - 2 必要のない無線通信は、これを行つてはならない。
 - 3 無線通信に使用する用語は、できる限り簡潔でなければならない。
 - 4 無線通信を行うときは、自局の識別信号を付して、その出所を明らかにしなければならない。
- 〔8〕 無線電話通信において、無線局は、自局に対する呼出しであることが確実でない呼出しを受信したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。
- 1 応答事項のうち相手局の呼出名称の代わりに「貴局名は、何ですか」の略語を使用して、直ちに応答する。
 - 2 直ちに応答し、自局に対する呼出しであることを確認する。
 - 3 その呼出しが反復され、かつ、自局に対する呼出しであることが確実に判明するまで応答しない。
 - 4 他の無線局が応答しない場合は、直ちに応答する。
- 〔9〕 無線電話通信の通報において、「終わり」の略語を使用するのはどの場合か。次のうちから選べ。
- 1 通信が終了したとき。
 - 2 通報の送信が終わるとき。
 - 3 周波数の変更を完了したとき。
 - 4 通報がないことを通知しようとするとき。
- 〔10〕 入港中の船舶の船舶局を運用することができないのはどの場合か。次のうちから選べ。
- 1 総務大臣が行う無線局の検査に際してその運用を必要とする場合
 - 2 中短波帯（1,606.5kHzから4,000kHzまでの周波数帯をいう。）の周波数の電波を使用して通報を他の船舶局に送信する場合
 - 3 無線通信によらなければ他に陸上との連絡手段がない場合であつて、急を要する通報を海岸局に送信する場合
 - 4 26.175MHzを超え470MHz以下の周波数の電波により通信を行う場合
- 〔11〕 遭難呼出し及び遭難通報の送信は、どのように反復しなければならないか。次のうちから選べ。
- 1 他の通信に混信を与えるおそれがある場合を除き、反復を継続する。
 - 2 少なくとも3分間の間隔をおいて反復する。
 - 3 少なくとも5回反復する。
 - 4 応答があるまで、必要な間隔をおいて反復する。
- 〔12〕 156.8MHzの周波数で遭難呼出しを行う際に、遭難信号MAYDAYは何回送信しなければならないか。無線通信規則の規定に照らし、次のうちから選べ。
- 1 3回
 - 2 1回
 - 3 4回
 - 4 2回